

## 新型コロナワクチン接種のご案内

3月31日で新型コロナワクチンの特例臨時接種(全額公費負担)が終了します。4月以降の接種については定期接種や任意接種として実施しますが、自己負担が発生しますのでご注意ください。自己負担額や補助額などの詳細は、決定次第お知らせします。

【問】健康づくり課Tel48-6882



### 4月からの新型コロナワクチンの接種

対象	●65歳以上 ●60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障がいがあり身体障害者手帳1級相当の人 ※年齢は接種当日の満年齢です。
区分	定期接種
費用	自己負担(一部補助予定)
接種回数	年1回
時期	秋冬
使用するワクチン	流行や効果を踏まえて毎年見直し

※左記以外の対象者は、任意接種(全額自己負担)として受けられます。



#### 注意点

- ・今年度分の接種予約受け付けは3月22日(金)までです
- ・自己負担なく接種できるのは3月31日(日)までですが、医療機関によって最終実施日が異なるため、希望する人は早めにご予約ください
- ・お手元にある接種券は4月以降は使用できません

### 古河市コロナワクチンコールセンターの運営を終了します

3月25日から、新型コロナワクチン接種に関する問い合わせやキャンセルについての連絡先が変わります。電話のかけ間違いにご注意ください。

#### 3月22日(金)まで

古河市コロナワクチンコールセンター  
Tel23-2567  
時間 9時～17時(土・日曜日、祝日を除く)

#### 3月25日(月)から

健康づくり課 感染症対策係  
Tel48-6882  
時間 8時30分～17時15分(土・日曜日、祝日を除く)

### 新型コロナワクチン接種証明書の発行について

接種証明書アプリとコンビニ交付は3月31日(日)で終了します。アプリで接種記録を確認している人は、印刷や画像の保存をしてください。

令和5年度分までの接種の証明書は、古河福祉の森会館窓口で申請受け付けと発行をします。令和6年度以降接種については証明書の発行はありません。



## 子宮頸がんをご存じですか？

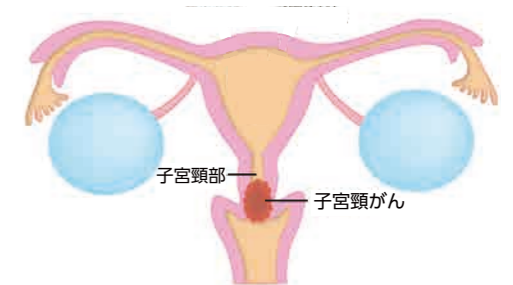
市では、子宮頸がんの予防や早期発見をするためにワクチンの定期接種や検診を行っています。子宮頸がんは最も予防しやすいがんと言われており、がん予防の知識が大切です。不安に感じた時は、かかりつけ医や健康づくり課などに相談してください。

【問】健康づくり課Tel48-6882

### 子宮頸がんとは

子宮の頸部という入り口付近に発生するがんで、主にヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因と考えられています。

日本では毎年11,000人の女性がかかり、約2,900人が亡くなっています。最近は20～30歳代での発症が増えており、30歳代までにがんの治療によって子宮を失う(妊娠できなくなる)人も1年間に約1,000人います。



### 子宮頸がんを防ぐポイントは？

初期症状がほとんどないため、発見された時にはがんが進行していることもあります。私たちが自分でできる対策は次の2つです。

ポイント1  
ワクチン接種で感染予防



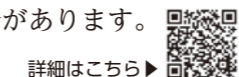
ポイント2  
検診で早期発見・治療

### HPVワクチンを接種しましょう

最新の9価HPVワクチンを接種すると、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぐ効果があります。また、次の対象者には無料で接種を行っています。

■定期接種  
対象 小学6年生～高校1年生相当年齢の女性  
接種期限 高校1年生相当年齢に達した年度の3月31日

■キャッチアップ接種(特例措置)  
対象 平成9年4月2日以降生まれで未接種の女性  
接種期限 令和7年3月31日  
※この期間を過ぎてから自己負担で接種しようとする場合と10万円程度かかる場合があります。



詳細はこちら▶

### 子宮頸がん検診を受けましょう

市内在住の20歳以上を対象に実施しており、年度内に1回受けられます。「集団検診」か「医療機関検診」を選んで受診してください。

今後の検診は4月以降に行います。詳細は、広報古河4月号と同時配布する「特定健診・がん検診のご案内」または市ホームページをご覧ください。

